報道関係者各位

2022 年 1 月 18 日
株式会社 JDSC

健康寿命延伸プラットフォーム事業の実証実験を開始

高齢者の筋力維持・体力年齢改善を顧客目線で実現へ

株式会社 JDSC（代表取締役社長 加藤エルテス聡志、本社：東京都文京区）は、RIZAP 株式会社（代表取締役社長 瀬戸 健、本社：東京都新宿区）、ユカイ工学株式会社（代表取締役 青木俊介、本社：東京都新宿区）と 3 社合同で、健康寿命延伸サービスの構築と検証を開始したことをお知らせいたします。

JDSC は、電力データから AI でフレイルリスクや日常生活の変化を検知する技術を用いて、フレイル（※1）予防における結果の見える化と予防活動の継続化を実現するプラットフォーム構築に貢献していきます。

※１：フレイルとは、加齢に伴い心と身体の動きが弱くなってしまう状態

■検証開始の背景

日本の平均寿命は、男性 79.55 歳・女性が 86.3 歳である一方で、健康寿命は男性 70.42 歳・女性 73.62 歳という結果が出ています。（※2）

健康寿命を延伸するために重要なことは、フレイル予防に取り組む上での 3 つのハードルを解消することです。それは、モニタリング（データ収集）、IT リテラシー、リクルート（参加と継続）で、この 3 つのハードルを下げることによって、より多くの方のフレイル予防の推進を目指します。フレイル予防をより多くの方に受けていただけるよう、結果の見える化と活動の継続化を実現するプラットフォーム構築の実証実験を開始いたしました。

本サービス構築と検証は、三重県が、国内外の企業からアイデアを募集して開発のサポートや実証・社会実装の支援などを行う「クリ“ミエ”イティブ実証サポート事業」の採択を受けました。第 2 期の募集にて、28 件から 4 事業者の採択のうちの 1 事業者として、RIZAP が採択されました。今後、実現可能性調査を経て、実証実験を行っております。

JDSC は、「UPGRADE JAPAN」をミッションに、東京大学の複数の研究室と連携し、AI 技術を社会実装可能な形に革新することで社会課題の解決を目指しています。各種データや高齢者の健康寿命延伸に寄与するアセット、自治体とも連携を強化しながら、フレイル対策コンソーシアムという形で産学民の共創による高齢者福祉のアップグレード、誰もがいきいきと活躍できる社会を目指して取り組んでいく予定です。

報道関係者各位

2022 年 1 月 18 日
株式会社 JDSC

本実証実験では、高齢者宅のスマートメーターからの電力データを AI が解析することで、モニタリングのハードルを下げ高齢者の負担なくデータを把握し、ヘルスケアデータとも連携することで、健康寿命延伸プラットフォーム構築を目指します。

※2：平成 26 年　厚生労働省調査より

■採択内容について

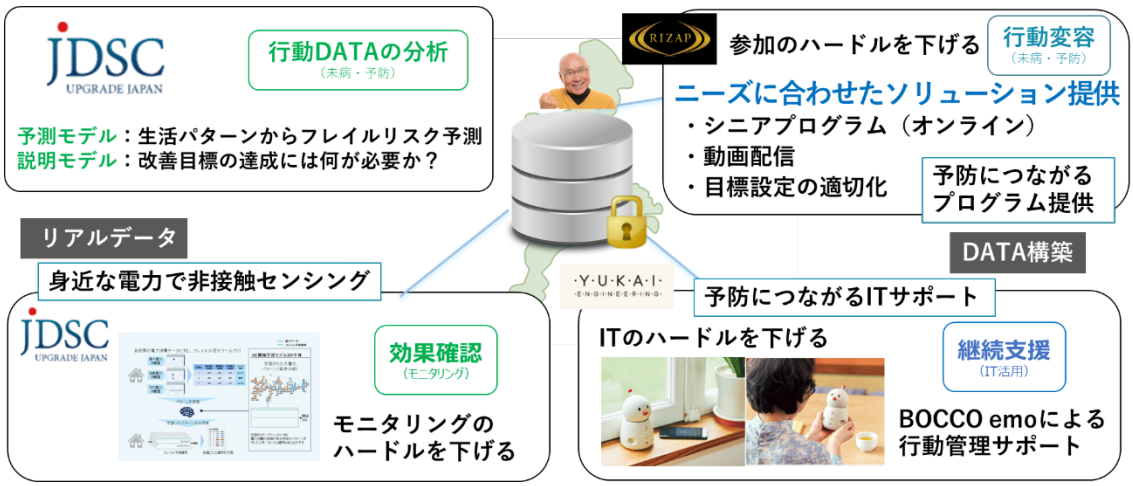
「結果にコミットする。」フレイル予防

最新のヘルスケアテクノロジーを活用した、人にやさしい健康寿命延伸サービスの構築と検証

■検証内容について

自治体にとってはフレイル予防をより多くの方に受けて頂き、かつ有効なデータとして構築をしたい声がある一方で、対象者である高齢者の日常のデータ収集が難しい、デバイス操作が難しいなどが課題として挙がっています。モニタリング（データ収集）、IT リテラシー、リクルート（参加と継続）の 3 つのハードルを下げることによって、より多くの方のフレイル予防の推進を目指します。

さらに、コロナ禍の状況を鑑みてオンライン実施を主軸としながらも、高齢者に IT リテラシーを求めず寄り添う施策を同時に展開していくことで、高齢者の参加ハードルを下げ、高い参加率・継続率を狙っていきます。



■検証体制について

報道関係者各位

2022 年 1 月 18 日
株式会社 JDSC

株式会社 JDSC、RIZAP 株式会社、ユカイ工学株式会社の 3 社合同で、フレイル予防における結果の見える化と継続化を実現する健康寿命延伸プラットフォーム事業を実証していきます。JDSC は、電力データから AI でフレイルリスクや日常生活の変化を検知する技術を用いて、モニタリングのハードルを下げると共に、本プログラムにおける行動データや効果の可視化に関与いたします。

フレイル予防での結果の見える化と継続化を実現するプラットフォーム構築を目指す

■クリ“ミエ”イティブ実証サポートとは

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、世の中の考え方・働き方は大きく変わってきており、感染収束後は感染拡大前の日常には戻らず、アフターコロナの新常態(ニューノーマル)となっている可能性が高くなっています。

本事業では、こうした動きに伴い発生する新たな地域課題・社会課題の解決や、「新たな日常」の実現に向けて、革新的なビジネスモデル・テクノロジーで対応しようとする国内外の大企業・スタートアップ(第二創業・企業の新規事業を含む)等からアイデアを募集し、開発のサポートや実証実験・社会実装の支援等を行うことで、地域の課題解決に繋げるとともに、三重県から、全国に先駆けて感染防止対策や新しい生活様式のモデルが構築されることを目指しています。

URL：https://cre-mie-tive.jp/

■合同検証する2社について

報道関係者各位

2022 年 1 月 18 日
株式会社 JDSC

RIZAP 株式会社
http://www.rizap.jp/

「結果にコミットする。®」をコンセプトに、パーソナルトレーニングジム「RIZAP(ライザップ)」を運営しています。2012 年 2 月の 1 号店オープン以来、店舗拡大とともに急成長を続ける RIZAP は、一般のスポーツジムとは異なり、ゲストの夢、理想、真のニーズと本気で向き合う資質を持ったトレーナーを厳選しています。「人生最高の体と自信、そして期待を上回る感動を提供する」ため、パーソナルトレーナーの品質にこだわり、ゲストの理想の体型の実現に全力でコミットします。
「RIZAP」の名称は、「RISE」と「UP」からできています。また、黒色背景と金色のロゴには、“どん底で暗闇の状態からでもその人が望む限り、高く飛躍でき、必ず光り輝く未来は訪れる”という想いを込めています。
現在、国内 123 店舗を運営。(2021 年 6 月 末現在)
累計会員数は 17 万人を超えています。(2021 年 12 月末現在)

RIZAP 株式会社
代表取締役社長：瀬戸 健
設立日：2010 年 5 月 7 日
本社：東京都新宿区北新宿 2-21-1 新宿フロントタワー31F

ユカイ工学株式会社
https://www.ux-xu.com/

ユカイ工学は、「ロボティクスで、世界をユカイに。」を掲げ、しっぽのついたクッション型セラピーロボット「Qoobo」、「ユカイなぼうけんクラフトキット」などエデュケーションシリーズ「kurikit」、やみつき体感ロボット「甘噛みハムハム」など、様々な製品を開発・販売するロボティクスベンチャーです。自社製品の製造、販売ノウハウを元に、お客様のご要望に合わせて、ハードウェアの設計・製造、ソフトウェアやアプリ開発、センサーや部品の調達を迅速、柔軟に対応する体制を整えています。

報道関係者各位

2022 年 1 月 18 日
株式会社 JDSC

ユカイ工学株式会社
代表取締役：青木俊介
設立日：2007 年 12 月 28 日
本社：東京都新宿区富久町 16-11 武蔵屋スカイビル 101

■株式会社 JDSC について
https://jdsc.ai/

JDSC は、物流最適化や需要予測、フレイル検知や教育など、基幹産業を中心とした幅広い分野で、一気通貫型の高付加価値な AI ソリューションを提供しています。アルゴリズムモジュールの開発とライセンス提供事業、IT システムの開発と運用事業、データサイエンスに関するビジネスマネジメント事業を行い、業界全体の課題解決に AI を活用し、日本の産業のアップグレードを目指しています。

《当社の 3 つの特徴》

1 .AI アルゴリズムに関する技術面での豊富な知見
2 .AI による解決策の提示から実行まで一気通貫で支援するビジネス面での高い執行能力
3 .大手企業との共同開発と産業横展開を両立する生産性の高いビジネスモデル

株式会社 JDSC
代表取締役社長：加藤エルテス聡志
設立日：2018 年 7 月 23 日
本社：東京都文京区本郷二丁目 38-16 JEI 本郷ビル 8 階

[本プレスリリースに関するお問合せ先]

◇株式会社 JDSC 担当　広報 info@jdsc.ai